

“復興なみえ町十日市祭”は、今年も

大盛況!



4人から“輝く笑顔”のプレゼント

11月24日には、屋外ステージに人気アイドルグループ「ももいろクローバーZ」が登場。浪江町はもとより、全国各地から会場に集結した約2,000人の“モノノフ”と呼ばれるファンの皆さんをはじめ多くの来場者に、たくさんの“元気と笑顔”を届けようと、約1時間にわたるライブが披露されました。また、ステージに最も近いエリアに特別に用意された“浪江町民用”の観覧席では、町民の皆さんが、目の前で繰り広げられる圧巻のパフォーマンスを満喫していました。



“浪江発の新ユニット”がお披露目

当日は「ももいろクローバーZ」の佐々木彩夏さん(写真①一番右)が総合プロデューサーを務める「浪江女子発組合(JA浪江)」の結成が発表されました。“浪江町から元気を届けるご当地アイドル”として、日本全国に“浪江町の今”を伝えていく「浪江女子発組合」。今後は、町内でもイベントを開催するなど、浪江町を盛り上げるため、様々な活動を展開していきます。
「浪江女子発組合」公式ホームページはこちら <https://www.janameie.com/>



雨にもかかわらず会場にはたくさんの来場者が

11月23日・24日、浪江町地域スポーツセンターにおいて、「復興なみえ町十日市祭」が開催されました。震災後、浪江町内で3回目の開催となった今年は、あいにくの雨模様でしたが、会場には2日間で約27,500人が来場しました。

屋内外2か所のステージでは、地元の子供たちや芸能団体の発表、町出身アーティストのライブなどが披露され、大いに盛り上がりました。

屋外には、約100店舗が軒を連ねた「大露店市」や、ご当地グルメ・特産品を取りそろえた「浪江名店街」など、出店が所狭しと並び、また屋内では、各地区の自治会による作品展示をはじめ、「NPBベースボールフェスタ2019in浪江町・十日市祭」などの催しが行われ、会場は、思い思いに祭りを楽しむ多くの人でにぎわいました。

今年も開催！伝統の“大せとまつり”

同時開催された「大せとまつり」では、国の伝統的工芸品に指定されている大堀相馬焼の窯元が、丹精を込めて作った数々の作品が販売されたほか、絵付け体験やろくろの実演が行われました。県内各地で再開した7つの窯元が一堂に会し、それぞれの伝統の技に触れられる貴重な機会であり、この日を待ちわびた人たちが次々と訪れていました。



①大観衆の前にパフォーマンスする「ももいろクローバーZ」 ②おなじみ「十日市祭」のアーチ ③日頃の成果を発表 ④来場者でにぎわう出店 ⑤ステージ前に集結した“モノノフ” ⑥会場を彩る大漁旗 ⑦祭りを楽しむ“うけどん” ⑧塗り絵を楽しむ子供たち ⑨⑩買い物客でにぎわう「大せとまつり」 ⑪笑顔が輝く“ももクロ”の4人 ⑫盛り上がりは最高潮に ⑬「浪江女子発組合」お披露目の初舞台 ⑭「浪江女子発組合」の華やかなステージ